

【資料2】

日本ディスクロージャー研究学会第15回研究大会プログラム

2017年6月24日(土)～6月25日(日)

東北大学会計大学院

6月24日(土)

■自由論題報告 (11:00～12:10)

第1会場

司会：榎本 正博 (神戸大学)

第1報告 「経営者能力の測定手法とその改善：ガバナンス要因の観点から」

河内山拓磨・石田 惣平 (一橋大学・埼玉大学)

第2報告 「コーポレートイノベーションと利益の持続性：純営業資産利益率予測モデルに基づく分析」

竹原 均・井出 真吾 (早稲田大学・ニッセイ基礎研究所)

第2会場

司会：大鹿 智基 (早稲田大学)

第1報告 「オペレーティング・リース取引の信用リスク評価の実証分析」

古賀 裕也 (東北学院大学)

第2報告 “Does The Fraud Triangle Predict Financial Statement Fraud?: Evidence from Japan”

中島 真澄 (千葉商科大学)

■理事会 (12:20～13:10)

■会員総会 (13:15～13:45)

■2016年度最優秀論文賞受賞記念講演 (13:50～14:30)

司会：吉田 和生 (名古屋市立大学)

「邦銀と米銀の貸倒引当金は同じなのか？」

梅澤 俊浩 (北九州市立大学)

■統一論題報告（14：40～16：35）

テーマ 「ディスクロージャーのコストとベネフィット」

座長・解題：木村 史彦（東北大学）

第1報告 「21世紀企業に対するディスクロージャー規制のコスト」

椎葉 淳（大阪大学）

第2報告 「オムロンにおける経営情報開示の意義と取り組みについて」

安藤 聡（オムロン株式会社取締役室社長付〔前 執行役員常務グローバルIR・コーポレートコミュニケーション本部長〕）

第3報告 「会計・開示規制のコスト・ベネフィットに関する実証的考察」

加賀谷哲之（一橋大学）

■Coffee break（16：35～17：00）

■統一論題討論（17：00～18：00）

座長 木村 史彦（東北大学）

椎葉 淳（大阪大学） 安藤 聡（オムロン株式会社） 加賀谷哲之（一橋大学）

■懇親会（18：10～）

6月25日（日）

■自由論題報告（9：00～10：55）

第1会場

司会：吉田 靖（東京経済大学）

第1報告 「電力会社における風土と環境会計の情報開示に関する提言」

吉田 雄司（埼玉学園大学）

第2報告 「ESGに係るリアルオプション価値の統合報告－開示インセンティブの制度補完も視野に」

越智 信仁（尚美学園大学）

第2会場

司会：太田 浩司（関西大学）

第1報告 「予想利益達成パターンと企業の配当政策」

根建 晶寛（福島大学）

第2報告 「監査等委員会設置会社への移行要因の探索」

浅野 信博・榎本 正博・松中 学（大阪市立大学・神戸大学・名古屋大学）

第3報告 「デリバティブの利用と利益調整行動の関係」

大沼 宏・石黒 武秀（東京理科大学・東京理科大学大学院）

■自由論題報告（2）ポスターセッション（9：00～11：20）

「特別損失と将来利益及び将来キャッシュ・フローの関係」

井上 修（福岡大学・東北大学大学院）

「わが国の非営利組織の会計は適切なのか？」

榎本 芳人（千葉商科大学大学院）

■Coffee break（10：50～11：20）

■日本ディスクロージャー研究学会賞受賞記念講演（11：20～12：20）

司会 薄井 彰（早稲田大学）

「裁判所による会計基準のエンフォースメント」

弥永 真生（筑波大学）

■ランチョン（12：20～13：10）

■特別プロジェクト最終報告（13：10～14：40）

司会 弥永 真生（筑波大学）

「ディスクロージャー不正の実態とその防止策—近時のわが国の不正事案を中心として」

主査 八田 進二（青山学院大学）

■常任理事会（14：50～16：50）